

ぐるグルドライブクイズR-9「久留里線 周辺手繰る 走り初め」 解答用紙(Excel版)

チーム名	正解	走行日	
ドライバー		ナビゲーター	
送付先住所	〒		
	氏名	TEL	
ハンドルネーム		←成績表に実名を出したくない場合	
DRCへの参加		DRCへの掲載	

クイズ解答欄

黄色部分は必須項目、送付先に記載の方を代表者とみなします

Q-A 距離計測	ドライブクラス	ラリークラス
CP	距離が短い順に番号を記入(1,2,…)	距離を記入(0.01 km単位)
S~1 CP	11	12.16 km
1~2 CP	3	3.88 km
2~3 CP	10	10.54 km
3~4 CP		
4~5 CP	9	7.44 km
5~6 CP	5	4.49 km
6~7 CP	1	2.85 km
7~8 CP	4	4.04 km
8~9 CP	6	4.55 km
9~10 CP	8	5.76 km
10~11 CP	7	4.66 km
11~F CP	2	3.16 km

Q-B	7
Q-C	スライダー着水プール(の水)
Q-D	和田橋
Q-E	今後の学術研究や環境教育の観察の場となるよう
Q-F	③
Q-G	湖展望広場、せせらぎ広場
Q-H	CANCEL
Q-I	地球の声を聴くベンチ
Q-J	どちらも可
Q-K	19
Q-L	標示板が指し示す方向がずれている
Q-M	右

参加クラス	
使用車	
使用トリップメーター	
トリップメーター表示	

Q-X1	(ブラジル松) ピンニョ
Q-X2	2CP
Q-X3	3CP
Q-X4	チバニアンビジターセンター
Q-X5	列車(の接近)
Q-X6	28図先

ぐるグルドライブクイズRound-9「久留里線 周辺手繰る 走り初め」  
最終成績

◆ラリークラス

順位	チーム名	代表者	QA													QB	QC	QD	QE	QF	QG	QH	QI	QJ	QK	QL	QM	QX1	QX2	QX3	QX4	QX5	QX6	小計	総減点	解答受領日	DRC参加※ DRC2022は未開催
			S / 1	1 / 2	2 / 3	3 / 4	4 / 5	5 / 6	6 / 7	7 / 8	8 / 9	9 / 10	10 / 11	11 / F	小計	ポルシェ通り	河過器	橋の名前	擁壁の隙間	ダム壁画	沢又橋	撮影の高さ	ベンチ名	トイレの壁	橋の数	違和感	雌の狍犬	松の木	線路	植栽のム	穴の写真	踏切ミラー	枯れ木の山				
1	中古でGO!	長谷部 章	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	-	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	4	6	5月2日	○	
2	つれづれ	山本 英雄	1	0	1	-	0	1	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	0	-	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	6	5月30日	○	
3	ズボラホワイト	蛭子 毅	1	1	0	-	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	-	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	3	6	6月18日	○		
4	チーム やってもた!	関 康成	1	0	1	-	0	0	0	0	0	0	1	1	4	0	0	0	0	0	-	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	3	7	5月17日	○		
5	食うらん	岸 憲司	1	0	0	-	0	0	0	0	0	0	1	1	3	2	0	0	0	0	-	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	6	9	6月5日	-		
6	川口ファミリー	川口 浩	1	0	1	-	0	0	0	1	1	0	2	1	7	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	9	8月6日	○		
7	チームまさる	岩泉 勝	2	0	1	-	1	3	0	0	1	0	0	1	9	2	0	0	0	0	-	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	12	5月29日	○		
8	1円70銭	青木 英一	1	1	1	-	1	0	0	0	1	0	1	3	9	0	0	0	0	0	-	0	2	2	0	0	0	0	0	2	0	6	15	8月7日	○		
9	DANGAN CLUB	矢木 雅人	6	1	1	-	0	4	0	1	1	0	2	1	17	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	7月13日	-		
10	1ドル70セント	青木 聖	1	1	1	-	2	0	2	3	0	1	3	3	17	0	0	0	0	0	-	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	18	6月6日	×		
11	ジイヤダケ	黒田 正彦	1	1	1	-	4	0	0	1	0	0	1	1	10	0	2	0	0	0	-	0	0	1	0	2	2	0	0	2	0	9	19	5月2日	○		
12	コロナに負けないぞ!!	青木 岳	1	2	3	-	2	1	0	3	2	1	1	2	18	0	0	0	0	0	-	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	19	5月29日	×		
13	NakBL32	NakBL32	2	0	1	-	0	1	1	0	1	0	1	0	7	1	0	0	0	0	-	1	2	2	0	0	2	0	2	2	0	12	19	7月5日	○		
14	マリモスターズ	マリモスターズ	1	0	1	-	10	0	0	0	0	0	1	1	14	0	0	0	0	0	-	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	6	20	8月7日	○		
15	チームくまくま	細田 実	7	5	1	-	2	0	1	1	1	0	1	1	20	0	0	0	0	0	-	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	4	24	7月7日	×		

◆ドライブクラス

1	ねこ金魚	ねこ金魚	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	-	0	0	2	0	0	0	0	0	0	4	4	8月7日	×	
2	ぐるドラビギナー	松本 菜々美	1	1	1	-	0	2	0	1	0	1	1	0	8	2	0	0	2	0	0	-	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	10	18	7月25日	○
3	ジバジバ亀	秋元 二三夫	0	0	0	-	0	1	0	0	1	0	5	5	12	1	2	0	0	0	0	-	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	9	21	7月4日	○

## ぐるグルドライブクイズ round-9「久留里線 周辺手繰る 走り初め」

### ◆全体

ぐるグルドライブクイズ初の千葉県コースということで、自宅から近いと参加して頂いた方もいれば、神戸や大阪からの遠征もあり、全部で18チームの参加がありました。公開期間中、通行止め等のトラブルもなく、早々にQ-H(藤原式揚水機)がキャンセルとなった以外は、無事終了できましたことを報告します。

比較的素直な出題だったと(作成者側は)思っている今回のクイズの解説を、以下に記します。



### ◆クイズ解説

#### Q-A(距離計測)

ラリークラスの約半分のチームが1桁減点に留めていた半面、1ヶ所の距離がずれたために順位を落とした方も少なくありませんでした。また果敢にも車載100mデジタルトリップでラリークラスに挑戦された2チームには拍手を送りたいと思いますが、結果をみるとやはり無謀だったようです。

ラリークラスでは長谷部さんが減点2でトップ、ドライブクラスは久しぶりに参加のねこ金魚さんが減点0でトップでした。

#### Q-B(ポルシェ通り標示板) 正解率=72%

木更津市のバックアップを得てオープンしたポルシェ体験センター。通り名までゲットしたその標示板は当然最近設置されたもので、ストリートビューには写っていません。

さほど難しくない出題ですが、最初の1枚の形状が微妙に異なっていたために、これを数えるのか迷った方も(2チームの方が気付いていました、注意力が素晴らしい)。「5」または「6」と解答した方には、形状の違いを考慮したのか確認させてもらった上で採点しました。



#### Q-C(浄水器) 正解率=89%

百目木(どうめき)公園のプールは、なんと地下水を汲み上げて浄ろし使用しています。プール自体も設備が充実しており、この公園の目玉施設であることから出題しました。

出題写真の浄水器は、一部がペンキで上塗りされており読み取れません。実は、裏に回れば左の写真のように、しっかり読み取れます。これに気付いた方は少数のようで、公園案内図などから情報を得た方が多かったようです。なお、正確には「スライダー着水プールの水(を浄ろしている)」と答えるべきところですが、「スライダー着水プール(を浄ろしている)」でも通じるため正解としました。

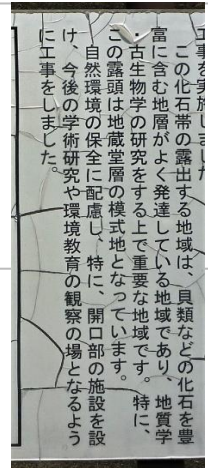
#### Q-D(橋の名前) 正解率=100%

現地で橋の名前が読み取れないほど風化していたので、他の情報から推測してもらうこのような出題方法としました。2CPの案内マップを見て、ルートを想定し通る橋の名前を順にメモすることで解答可能となります。面白い出題ができたと思っていましたが、まさか全チーム正解するとは予想外でした。失礼しました。

Q-E(擁壁の隙間の理由) 正解率=89%

CP間にあるクイズでしたが、無事全員発見されたようです。

化石や堆積物が見えるようにするためという解答もあり、確かにそうではあるのですが、ここは現地の説明文に即したもののみ正解としました。



Q-F(ダム壁画) 正解率=100%

この壁画は過去のDRでも出題対象でした。数え物や探し物、人気投票などいろんな出題が可能でしたが、壁画以外から情報を得る必要がある出題形式にしました。

みなさんこの掲示を無事発見されたようで、全員正解でした。なお問題文では「③児童が直接ここで描いた」となっていますが、この掲示の下部には「生徒」と表記されていたため正確な表現ではありませんでした。ただ公式通知を出して訂正すると、③が正解だと教えるようなものなので、皆さんが適切に解釈してくれることを期待することにしました。3チームが気付きましたが、適切に解釈して解答してくれたので、助かりました。

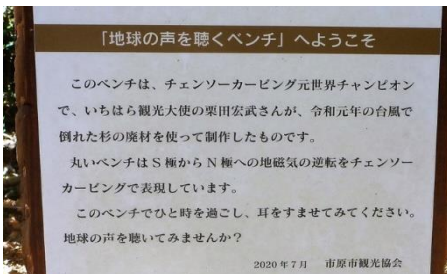


Q-G(沢又橋近くの2つの広場) 正解率=100%

全問正解が続きます。看板の両面を組み合わせる問題でした。簡単過ぎたかも。

Q-H(藤原式揚水機からの写真) 出題キャンセル

他のDR含めて、恐らく初めての出題形式だと思います。展望台から、その機能を活かした出題なので個人的には気に入っていたのですが、最初に走行された方から閉鎖の情報が入り、美術館に確認したところ再開の見通しは立っていないということだったので、止む無くキャンセル。いずれ再びここから出題する可能性も考えて、正解は披露せず伏せておきます。



Q-I(ベンチの名前) 正解率=94%

チバニアン少し手前にありました。全チーム発見されているのですが、1チームだけ誤字があり減点しました。名前や現地表記を問う問題は、正確に解答する必要があります。



Q-J(トイレの壁) 正解率=89%

←この世界一広いトイレ、昔テレビで見た記憶がありました。CP設置場所を探していて偶然見つけたので驚きました。皆さんにもびっくりしてもらおうと考え、コースガイドでも出題文でも伏せておきました。

出題対象は右の写真の誰でもトイレ。壁の形状の板状か丸太状かの違いに気付かず、引っ掛かって「女性用」と答えた2チームは、素直な性格の方だと思われるので、むしろ誇らしく思ってください。





Q-K(橋の数) 正解率=11%

多くの橋が描かれているこの案内図からの出題は、今回一番の難問となりました。黄色で囲んだ箇所にそれぞれ橋があります。特に見落としやすいのが点線で囲んだ3ヶ所です。歩道橋、栈橋、そしてトンネルの陰に半分隠れている橋。正解に2つ足りない「17」という解答が多かったです。

ここを正解した2チームは、矢木さんと川口さん！ なんとかつての(?)コンビなのでした。。



Q-L(施設方向の標示板の違和感) 正解率=100%

簡単でしたね。ストリートビューで見ると、撮影当時は正しい方向を向いていたようです。恐らく何かがあったってずれてしまったのでしょう。指している方向が正しくないことが含まれていれば、正解としました。

Q-M(雌の狛犬) 正解率=94%

コースガイドにも書いた通り、CP設置を予定していた店舗が店仕舞いしてしまったために、急遽近所で探したCP場所です。境内では出題ネタが見つからなかったのですが、珍しい狛犬がありました。狛犬は調べると奥が深く、向かって左が狛犬で右が獅子だとか。雌雄の別も股間を見れば分かるように彫られたものもあります。が、この諏訪神社のように、授乳しているものは初めて見ました。



ぐるグルドライブクイズ round-9「久留里線 周辺手繰る 走り初め」

Q-X 正解率＝①67% ②100% ③100% ④50% ⑤83% ⑥100%

Q-X1とQ-X4が難しかったようです。

Q-X1: 根元の植栽が伐採されたために、発見が難しくなっていました。参加者から報告がありましたが、他の状況から判別可能で、既に見つけた方との公平性を考慮し、公式通知を出しませんでした。公園内を1時間探し回った方も。ちなみに、「かんつばき」という解答が複数ありました。

Q-X2: 当初はコースに含めるはずだった久留里線終点の上総亀山駅。そこにも線路終端の光景があるので、そちらをX問題とする予定でした。途中でルートを変更したため問題を馬来田駅のものに差し替えた結果、簡単になってしまいました。

Q-X3: これも簡単ですね。探さなくとも、他のクイズを解いた帰り道で見つかりました。

Q-X4: これは意地悪な出題をしました。問題文は「この写真が見られる場所は？」であり、「この穴が見られる場所は？」ではありません。「この写真」はビジターセンターの壁にありました。内部にも掲示されていました。わざわざ足場が悪い場所で探し当てた方には、労が報われず申し訳ないです。

Q-X5: 警報機のない踏切にありました。このミラーの使い方には驚いた方が多かったです。うっかり「線路を見るため」と答えるお茶目さんを期待したのですが、いませんでした。

Q-X6: この異様な光景に、最初は我が目を疑いました。病気で立ち枯れ？台風か竜巻？隕石？UFOの墜落？ 私には分かりませんでした。調べてくれた方がいらっしゃいました。令和元年の台風被害ということです。驚くことが多かったと思われる今回のクイズの中でも、これは最も驚かれたのではないのでしょうか。

左: 出題時のピンニョ

右: 公開期間終盤のピンニョ



チバニアンビジターセンター

(黄色の丸印は出題対象の「写真」)

